

全編 42頁  
編 15頁



# 吸血鬼様と ちいさなメイドの みだりな吸血の

少年  
少女  
通

R18

榎本 尚  
enomoto nao

# 吸血鬼様と ちいさなメイドの みだりな吸血2

榎本 尚  
enomoto nao

この物語はフィクションです。  
実在する人物、団体などは一切関係ありません。

This story is fictional.  
It is not related to any real person or organization.

本作品の著作権は「榎本尚」に帰属しており、無断での複製や転載は厳しく禁じられています。  
他のウェブサイト、印刷物、電子メディアなどへの転載は一切許可されません。  
無断転載には法的措置を取る可能性があります。ご理解とご協力をお願いします。

The copyright of this work belongs to "Nao Enomoto",  
Unauthorized reproduction or reprinting is strictly prohibited.  
Reproduction on any other website,  
in print or electronic media is strictly prohibited.  
Reproduction on any other website,  
in print or electronic media is strictly prohibited.  
Unauthorized reproduction may result in legal action. legal action  
may be taken against any unauthorized reproduction.  
Thank you for your understanding and cooperation.

本作品版权归「榎本尚」所有，严禁任何未经授权的复制或转载。  
禁止在任何其他网站、印刷材料或电子媒体上进行复制。  
未经授权的复制可能导致法律诉讼。感谢您的理解与合作。

본 작품의 저작권은 '에노모토 나오'에 귀속되어 있으며, 무단 복제 및 전재를 엄격히 금지합니다.  
다른 웹사이트, 인쇄물, 전자 매체 등에 무단으로 전재하는  
것은 허용되지 않습니다. 무단 전재는 법적 조치를 취할 수 있습니다.  
이해와 협조를 부탁드립니다.

君名前は？

かすみ

つきおか  
月岡かすみ…です

女の人かと思っただけど低い声…

男の人…

とにかくこんなところでぐずるのやめてくれる

目障りだから

…ごめんなさい

びびる

立って

とりあえず  
あんたの部屋どこ

おめ

別に取って  
食ったりしない

警戒しなくていいよ

うっとおしいし

僕もここに  
住んでるんだ

あんたと同じ

さっきの  
デク  
木偶の坊もね

僕はあるの世話を  
言いつけられたから  
仕方なく来ただけ

カガリさまが？

わたしのお世話……

そ

だからほら

いくよ

あなたの部屋  
地下なんだね…

はい…

はい…

泣いてた理由は  
聞かない

僕はあなたが  
ここに慣れるまで  
面倒をみるだけ

ありがとうございます  
ごさいます

はあ

あんたはいつ  
ここに来たの？

ここがどういう  
場所かは知ってる？

いつ…  
わからない…

ひと月前くらい…  
だと思います

「人ならざる者が  
住まう館」って  
聞きました

さっきのデクもね

人間なんて  
この館にはいないよ

ミイラさんも  
人じゃないんですか…？

あんた  
吸血鬼に連れて  
来られたんだろ

なんで  
そんなこと  
なったわけ？

道で倒れていた  
かすみを助け：

違う…

倒れていた  
かすみを：

連れてきて  
くれました

倒れてた？

なんで

おとうさ…  
お父さんが…

こわくて…

その…お腹…  
すいて…

助けて  
くれたんじゃない

座って話しな

支離滅裂だし

もういいよ

あつ

はい…

詳しくは  
聞かない

ザミ

あんたにも  
事情がある  
みたいだし

あれは？

あんたの服じゃ  
ないでしょ

あ……っ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

カガリさまに…っ

ほつれてるところ  
直せて…

なんだそんなこと

いいよ  
僕がやってあげる

…カスミが  
言いつけられた  
ことなんです…

でも…

かすみが…  
出来ないこと  
わかってて…

意味なんて  
なかったんです…

はあ？

…なんか  
よくわからないけど  
とりあえずなに？

いびられてる  
ってこと？

オミツカヒナがよ

いび…？

いいよ

これ僕がやるから  
あんたがやったって  
ことにして返しな



え...?

お母さんが  
死んじゃってから  
家事をする人が  
いなくなつて...

お父さんが  
家事は女が  
やるものだって

ちなみにあんた  
メイドって  
聞いたけど  
何ができるの？



えっ  
えっ  
あの...  
すこしだけ  
お掃除と...  
お料理...  
お料理...

さいほう  
裁縫できないくせに  
そういうのは  
できんのね

ふーん

まあいいや

今日は掃除とか  
しなくていいから  
休みなよ



あっ

あの...っ



ミ

あり…

やっせもろんで  
しまつてはらのかな…

ありがとう  
ございます…

…どういたしまして

ちよつと怖い  
雰囲気だけど

やさしう…  
ビトだった…

おい…

ミイラ男に  
面倒を任せたが

役目を放棄して  
いいとは  
言っていない

ごめんなさい…っ

私が呼びつけたら  
すぐに姿を見せなさい

…気まずい

どんな顔を  
すればいいか  
わからない

…ごめん  
なさい…



私にご機嫌取りを  
させるつもりか？



そっ...

...いいえ



まだ機嫌を  
直していないのか

不機嫌じゃ...  
ないです...

どニがだ...  
あのミイラも  
かい  
甲斐なしだな



ないなら  
このまま  
血をもらおうよ

や...っ



何が望みだ

なにも...

なら

何が  
気に食わない？

…わかりません

でも…嘘  
…ついて

いじわる  
しました

こわ…かった

…嘘ね

まあそうなるのか

意地悪は  
記憶にないが

カガリさまは  
私のこと…  
嫌いなんですよね…

何故そうなる

気に食わない者を  
毎晩のように  
抱かないよ

でも…

いたずらって  
言っていました

はあ…

今から嘘は  
つかない

…わかった

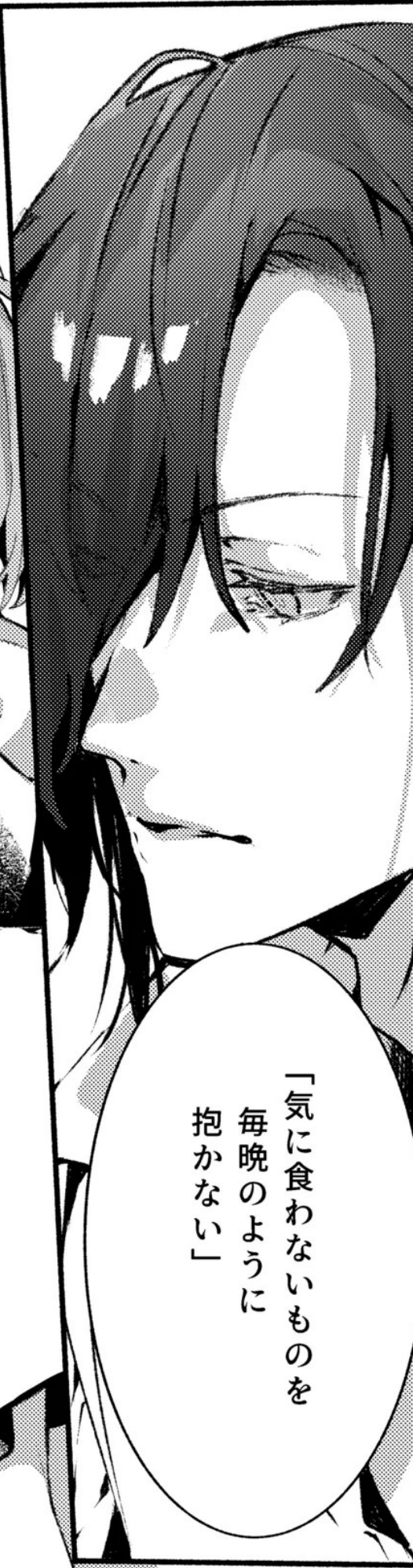
そういう  
意味じゃない

これでいいだろう



「うん、うん」

…痛いことも嫌です



「気に食わないものを毎晩のように抱かない」



少しこちらが譲歩して

「やっ」



ずいぶん  
随分気が大きく  
なつたじゃないか





最後の譲歩だ  
じょうほ



あっ

え…っ

カガリさま…っ  
どうして



どうしても  
なにも

お前はあの日から  
私のものにな  
ったのだから



どう扱うも  
私の勝手だ



そこ怖いです…っ

びくびくって  
なっていや

痛くないだろう

お前には  
過分な快樂  
なのだろうな

痛くはない…  
ですけど

まあ  
その内慣れる

だめっ

カガリさま…っ

こわい…っ



はあ  
カガリさま...?

カガリさま...っ

あっ  
このかっ

はずかし...ッ  
HEHE



なんだか刺激が弱くなつた...?



やさしくしてくれてるのかな...?



これでいいだろう

カガリさまが何を考えてるのかわからない...





物足りなく  
なってきたか

はぁ

はぁ

あ

あ

あ

あ

あ



乱れることを  
恐れるな

あ...うっ...

あ

あ

あ



素直に快楽を  
受け入れろ

ひ...ッ

お前から  
強<sup>ねだ</sup>請<sup>だ</sup>つてみる

そのくらいは  
できるだろう

まずは指からだ

っ…

何も言わぬなら  
このまま私の  
ものを挿入<sup>い</sup>れるよ

痛いのは  
嫌<sup>いや</sup>なのだろう

なら指で中を  
慣<sup>な</sup>らしておいた方が  
いいんじゃないか?

いや…

でも…

い…いたいのはいやだ…

賢明になりなさい

お前は今なんと答えるべきだ

…あっ

中…を


ふ…

そうだ…


…ゆゆびで…

カガリさまには…  
逆らえない

…して  
…ください



中を




どうしてほしい

…ッ




やさしく…


ハ  
ア  
ア



…まあいいだろう



じゃあ  
なんて言えば  
よかったの



下品な台詞を  
吐かせたい  
わけでもないからな



気持ちがいいのだな

きもちい…？

カガリさま…

気持ちのいいの…

また  
びくびく…ッ  
しちゃ

ああ  
気をやりそうか



あ…っ？

んっ

カガリさま…っ

ぬっ

あの…

おくちで…

くわ  
唾えたいのか？

ぬん

ぬん

ばいた  
売女のような  
ことを言うように  
なったな

ば？

いつも  
してた…から

ハッ

結構だ

ずいぶん  
随分時間を  
かけたすぎた

あまり気が  
長い方では  
なくてね

あ  
しなくて  
いいんですか…？

ム

口内くちに出したい  
わけでもない

ああ  
外にもね

…腔内なかに出さねば  
意味がないのだ

腔内なかに…?

…ああ  
そうか



私の子種を...

あ...っ

びりびり

おめ



おめ

おめ

びりびり

奥だ

ああっ

まって  
かがりさま

もつと奥に

やはり焦らすのは  
性に合わないな

だが普段より  
幾分か腔内が  
ほぐれて……

動きやすい

あ

あ

うっ



んっ

ふ

ふ...うん

あ...ッ



あ

あ

あ

あ

頭が……  
真つ白になる……ッ





腹這いに  
なれ…

カスミ…

なんだ

…気を失ったか



失礼するよ

はいっ

君の服  
あまりないと思って  
買ってきたんだけど

カ  
チ  
カ



えっ

えっ  
えっ  
ガ  
タ



あれ

ます!

んじゅん

ありがとう...

すみません...

かすみの...!?



食事？

君食事を  
するの

また  
ハイキチな  
ものを...

は

はい

ミイラさんは  
食べないんですか？

とっ

とっ



そりゃ...

僕は人じゃないし

がさ

がさ

人間の食べ物を

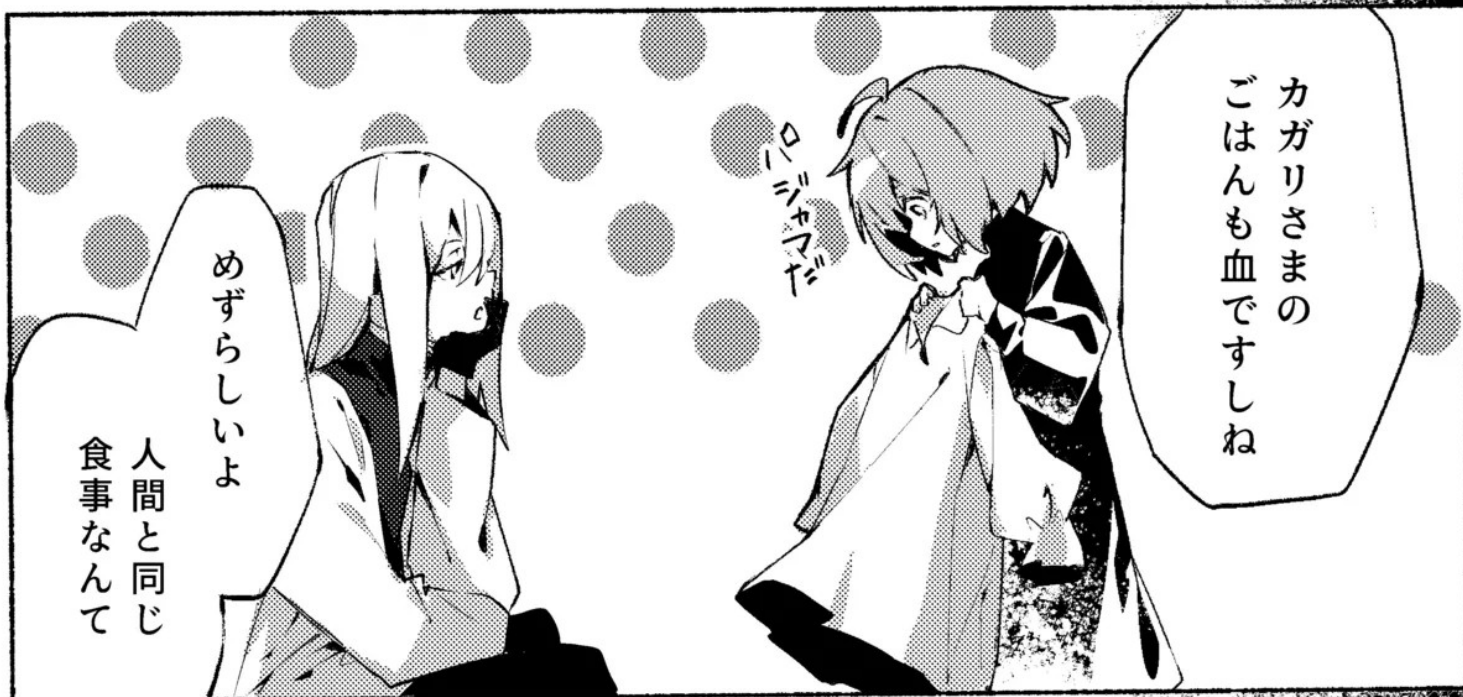
口にする者は

ここには

殆どほとんどいないよ

必要ないから

服のサイズは  
問題ないはず



カガリさまの  
ごはんも血ですしね

ロジャツだ

めずらしいよ

人間と同じ  
食事なんて



味もするの？

へえ

そりゃいいね

え？

はい

はい...

...あつ



「ここは  
人ならざる者が  
住まう館」でございます

もじかして  
私も怪物だと  
思われてる...？

僕も食べられない  
こともないけど

味なんてしないよ

あ

あの

人間で…

…は？

えっと…  
私はその



…まさか

気づいてないのか



え…？

…



…君は



死んでるんだよ

# —あとかぎ—

本作品をお読みいただき、誠にありがとうございます。  
もし、つづきを待ってくださっていた方がいらっしやいましたら、  
大変お待たせいたしました。

本当は前半後半で描く予定だったのですが、  
モチベーションのため、後半の丁度いいところで区切った  
形でなんとか完成させました……！

本編、番外編共にプロットは最初の時点で  
できてはいるので、最後まで描けたら……いいナ！  
本編にも番外編が付く予定。

それでは、またいつか……！



2025.5.22

本編にかくれば人だしゅんがいるよ！  
ひまつぶしをしたいときに探してみてね！





お前は

いつも焦げた  
臭いがするな



獣みたいな  
嗅覚だな

フム

今も消えない



僕の肌を焼く



炎が



なにずっと  
顔隠してんだよ

けらけら

髪伸ばして  
舐めてエ

おい  
口無しこげんぼ

口ついてんのか？

マスク外して  
見せてみるよ

お前  
押さえてええ

おいおい  
触ったら  
お前も移る…

ぞ…



触るな！

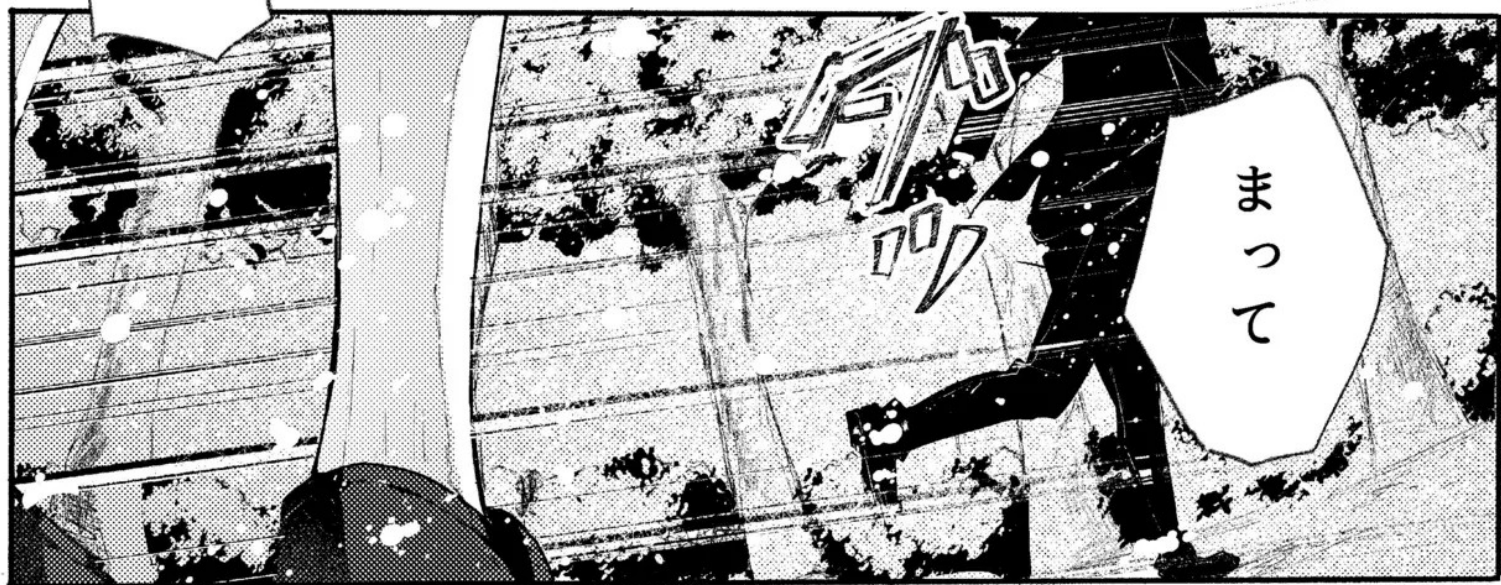




それに：  
私ゴミ袋  
持ってたのに

あつ

ごめ…っ  
ごめんなさい



まって

みかみ  
三神君っ



聞いた？  
三神さんの

ああ、息子さん  
びっくりしたわよ

前はあんなに  
礼儀正しくて  
良い子だったのに

自殺なんて

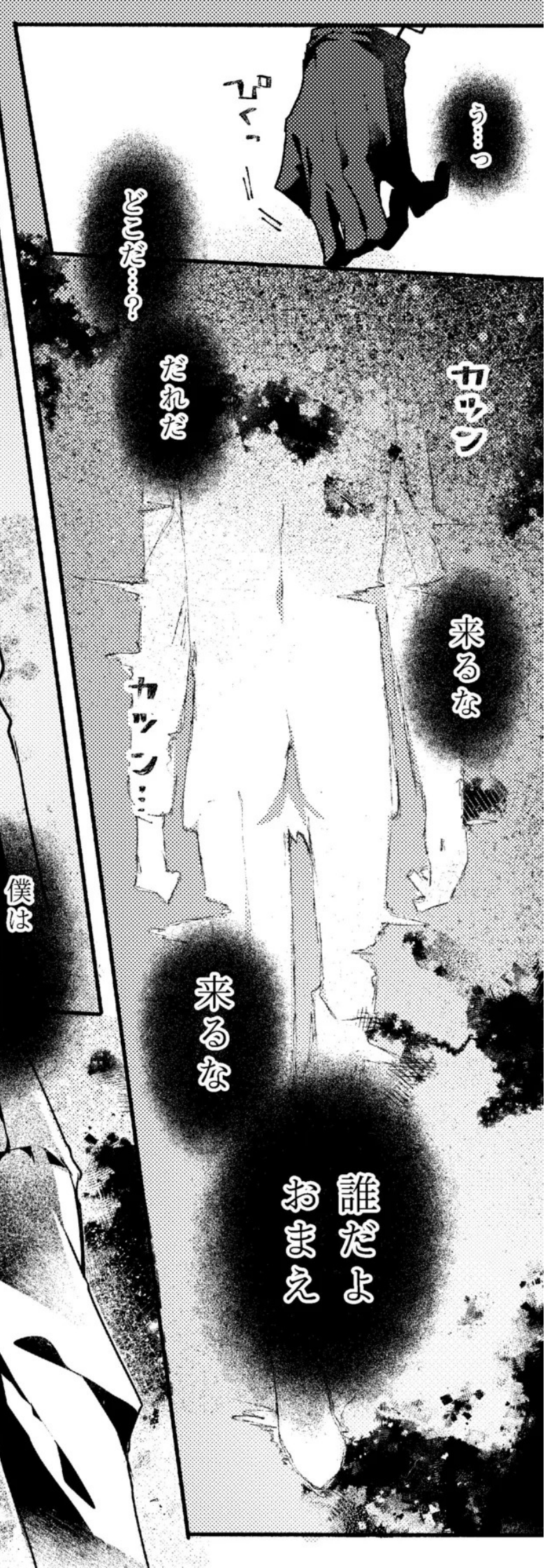


君だよ

ちがう

僕は  
そんな顔じゃ

。。。。



うん

どこだよ？

カウソウ

だれだ

来るな

カウソウ

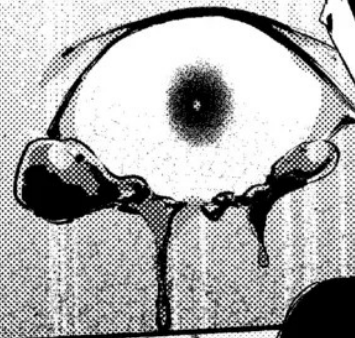
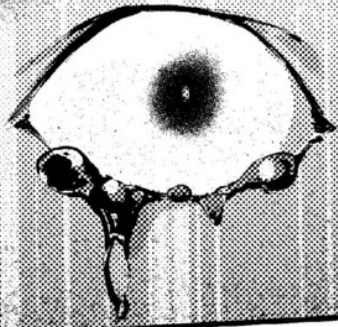
来るな

誰だよ  
おまえ

顔……

僕の頭が

イタイ



必要だろう

顔が





奪えばいい



欲しいものは

僕自身の手で

僕に怯えた女

顔の綺麗な女

僕よりも美しい女

ほしい

な



え

ゴト...





そうして僕は

うつくしい怪物になった

END